

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 瀧澤 博		
健福-23	重点事業	高齢者雇用促進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	就業を希望する高齢者
意図	知識・経験豊かな高齢者の就労を通して地域課題の解決に取り組むとともに、高齢者の健康と生きがいの増進及び社会参加を図るため。
効果	意欲ある高齢者の就労を支援することで、高齢者の心身の健康及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を活かした活力ある地域づくりに寄与する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役促進地域連携鎌倉協議会と連携し、高齢者の雇用を促進するため、相談窓口の設置、就労啓発セミナー、説明会等を開催した。 国からの委託金が入金されるまでの運転資金として、生涯現役促進地域連携鎌倉協議会に貸付を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	20,017	20,554	当初予算(千円)	11,700
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	19,988		その他	
	一般財源	29	20,554	一般財源	11,700
	人員配置数	0.5	0.3	人員配置数	0.1
事業経費運営	総事業費(千円)	23,968	22,978	総事業費(千円)	12,507
	市民1人当りの経費(円)	136	130	市民1人当りの経費(円)	71
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a:事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b:事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c:事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 令和3年度以降は商工課の労働環境対策事業との統合を検討する。 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A:予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B:予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	高齢者の雇用を促進し、社会参加を図ることは、高齢者の健康福祉を増進し、社会を活性化させることに有効であるため、事業は維持されるべきものである。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業計画書に沿った内容で、相談窓口の設置、事業所訪問、就労啓発セミナーの開催、企業との合同説明会の開催等を実施し、就業に結びつくなど一定の成果を出した。 令和2年度以降の3年間についても国からの補助が確定した。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	相談窓口利用者数や事業所訪問件数など、目標に及ばなかった原因を分析し、方法の見直しを図る必要がある。また、令和元年度に国の委託期間が終了するため、シルバー人材センター支援事業との統合も視野に入れ、新たな事業継続の手法について検討する必要がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	事業所訪問数を増やしていくために就労支援員のシフトを工夫した。高齢者の就労啓発セミナー、企業との合同就職説明会、スキルアップセミナーを開催した。広報かまくら及びタウンニュース等への記事掲載のほか、鎌倉ケーブルテレビで活動内容のPRを行った。シルバー人材センターと事業統合に関して協議を行ったが不調に終わった。令和2年度から3年間の国の補助金申請を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	相談窓口利用者数や事業所訪問件数など、目標に及ばなかった原因を分析し、改めて方法の見直しを図る必要がある。また、令和2年度から3年間は国の委託期間が継続になったため、新たな事業継続の手法について検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	相談窓口利用者数(平成30年度)								
団体名	鎌倉市	柏市							
他市実績	504人	566人							
比較事項	ホームページアクセス数(平成30年度)								
団体名	鎌倉市	柏市							
他市実績	26325件	39719件							
比較事項	事業所訪問件数(平成30年度)								
団体名	鎌倉市	柏市							
他市実績	88件	88件							
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本事業を近隣市町村で実施しているのは千葉県柏市(人口422,385人)のみであり、柏市とは事務局規模や目標が異なることから一概に比較できないが、事業所訪問件数は同程度、窓口利用者数・ホームページアクセス数は柏市より下回っていると見受けられる。高齢者には社会参加や生きがいづくりの機会を与えていくことは必要であるため連携をしていく。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	相談窓口利用者数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
事業ニーズの把握、周知度の把握	目標値	-	-	120	720	720	720				
	実績値	-	-	25	352	504	375				
	達成率	-	-	20.8%	48.9%	70.0%	52.1%				
指標の内容	事業所訪問件数						単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
事業所の意向を調査し、高齢者雇用に対する意識啓発を進められたかどうかの把握	目標値	-	-	50	180	180	180				
	実績値	-	-	11	111	88	86				
	達成率	-	-	22.0%	61.7%	48.9%	47.8%				
指標の内容	就業者数						単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
支援により就労に結びついた人を把握するため	目標値	-	-	6	58	64	75				
	実績値	-	-	0	42	117	126				
	達成率	-	-	0.0%	72.4%	182.8%	168.0%				
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・就業者数については、順調に成果が出てきていると思われるため、今後も、さらに実績を上げることができるよう努力し、目標を下回っている部分については理由を分析し、改善に努める必要があると考える。高齢者に社会参加や生きがいづくりの機会を提供することは必要であり、今後も取組みを進めていく。										